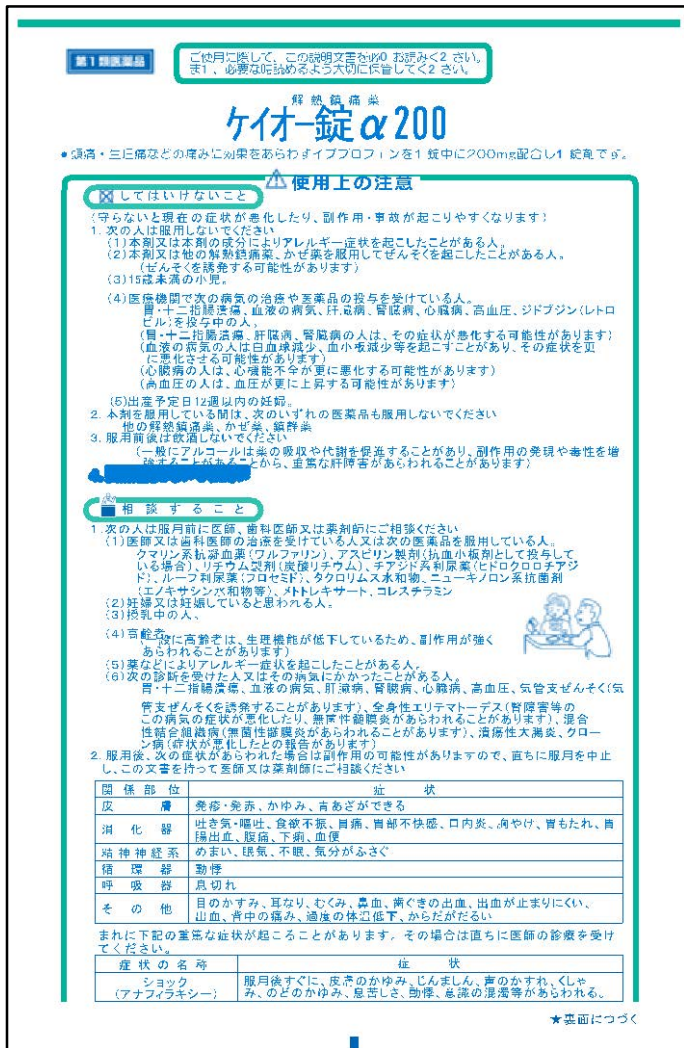


生活者にとって分かりやすい要指導・一般用医薬品添付文書の構成に関する研究

研究開発代表者 慶應義塾大学薬学部 教授 望月眞弓
 研究開発分担者 慶應義塾大学薬学部 准教授 青森 達



背景・目的

一般用医薬品の添付文書は、生活者自らが読んでその製品の適正使用情報を得る文書であり、分かりやすい情報提供であることが重要である。

本研究では、一般用医薬品の添付文書について「要指導医薬品の添付文書理解度調査ガイド」に基づいた理解度調査を実施し、一般用医薬品添付文書の構成と用語について検討する。これらの結果に基づいて要指導・一般用医薬品添付文書の記載要領を見直し、生活者にとってより理解しやすい添付文書を作成できる、記載要領を提案する。

根拠に基づいて…

- ・項目名
- ・項目記載順序
- ・レイアウト
- ・用語
- ・イラスト等

の見直し

期待される効果

- ✓ 要指導・一般用医薬品の適正使用
- ✓ 有効性・安全性の向上
- ✓ 健康増進・副作用の重篤化回避
- ✓ 要指導・一般用医薬品に対する信頼性向上
- ✓ セルフメディケーションの推進
- ✓ 医療費抑制